

CORO PIENO

コーロ・ピエーノ

おらしょ ～祈りのうた～



2018年6月9日(土) 午後3時開演 (午後2時半開場)

西南学院大学チャペル

入場料 1,500円 (全席自由)

パレストリーナ：「来たれ創造主なる聖霊よ」

千原英喜：「混声合唱のための『おらしょ』カクレキリシタン3つの歌」

D. スカルラッティ：「主は我らを養い」

ヘンデル：リコーダー等の器楽曲より

J.S. バッハ：モテット第2番「聖霊はわれらの弱きを助け給う」BWV226 (ほか)

指揮 安積道也 村山 暁

リコーダー 大坪由香

オルガン 岩田耕作

テオルボ 笠原雅仁

合唱 コーロ・ピエーノ

333
HBS

333 Years of Handel, Bach & Scarlatti
www.hbs-333.com

ヘンデル・バッハ・スカルラッティ
生誕333年祭参加公演

<チケット・お問い合わせ>

田中税理士事務所内 田中

Tel 092-712-4799(平日) mail mztanaka@io.ocn.ne.jp

http://fine.music.coocan.jp/CORO_PIENO/index.html

【後援】福岡市 (公財)福岡市文化芸術振興財団 福岡音楽団体連絡会 福岡県合唱連盟 西南学院大学 十八世紀音楽祭協会

おらしょ ～祈りのうた～

日本へのキリスト教伝来以降、長崎県生月島などのカクレキリシタンにより今日まで歌い継がれてきた祈りの朗唱「おらしょ (oratio)」。今年コーロ・ピエーノは、パレストリーナ等の宗教曲とあわせ、千原英喜「おらしょ」を演奏します。さらに後期バロックを代表する作曲家G.F. ヘンデル、J.S. バッハ、D. スカルラッティ生誕 333 年を記念して、3 人の作品を取り上げます。ルネサンスから現代まで時空を超えた祈りのうた (oratio) をお聴きください。

安積道也 指揮



シュトゥットガルトならびにフライブルク国立音楽大学にて、教会音楽科A課程と指揮科を最優秀で修了。ドイツ国家資格教会音楽家最高位 (A級カントール) 取得。2004年第1回パイロイト合唱指揮者コンクール優勝。在学中、ギューンタースタール聖マリア教会音楽監督とドイツ・フランス合唱団フライブルク常任指揮者を兼任。

レパートリーはジャンルを超えて多岐にわたるが、中でもバッハの『マタイ受難曲』など大規模な管弦楽付宗教作品を得意とする。また、コンサート・オルガニスト、合唱指導者、コンクール審査員として国内外で幅広く活動している。西南学院音楽主事。西南オラトリオ・アカデミー常任指揮者。エリザベト音楽大学非常勤講師。新・福岡古楽音楽祭「合唱セミナー」講師。キリスト教礼拝音楽学会役員。

大坪由香 リコーダー



8歳より故・麻生純氏にリコーダーの指導を受ける。福岡県立修猷館高校、桐朋学園大学古楽器科 (リコーダー専攻) 卒業。同大学研究科修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院古楽科をサーティフィケートを得て修了後、アムステルダム古楽アカデミーにて学ぶ。リコーダーを花岡和生、R. カンジ、J.v. ヴィンガーデン、H. テル・スケットの各氏に師事。

ゆふいん音楽祭、おくに古楽音楽祭、福岡古楽音楽祭に出演。福岡教育大学非常勤講師、福岡県教委嘱託講師、アクロス福岡「古楽器展」のセミナー講師、福岡女学院「バッハ音楽会」リコーダーステージ特別指導講師 (大学生対象)、中学校リコーダーコンテスト審査員 (福岡・熊本・鹿児島) 等を務める。2006年、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてオランダのコトレヒトへ派遣される。06～16年「西南リコーダーフェスティバル」、17年「リコーダー・フェスティバル in 西南」音楽監督。古楽ユニット「ひとときの音楽」「ザ・リハーサル・バンド」メンバー。福岡市在住。

岩田耕作 オルガン



福岡県出身。6歳のときに失明。筑波大学付属盲学校高等部音楽課を卒業後ヨーロッパに留学。ブリュッセル王立音楽院にてチェンバロと室内楽のブルミエ・ブリ、ストラズブル音楽院にてチェンバロと作曲法の金賞を受賞。チェンバロを小林道夫、橋本ひろ、アリーン・ジルヴェライヒ、チェンバロとオルガンをロベール・コーネン、バス・コンティニューオとオルガンをマルタン・ジェステール、作曲法をオディール・シャルベ、マルク・アンドレ、リュートをつのだたかしの各氏に師事。チェンバロ、ピアノ、リュート、ハーブなどの演奏の他、新しい日本

語による歌曲や合唱作品の作曲も行っている。なお、ハーブは全くの独学。

笠原雅仁 テオルボ



武蔵野音楽大学声楽科にて宮本昭太氏に師事。同大学卒業後は有村祐輔氏のもとで声楽、古典音楽理論を学んだ後、1998年に渡英。ロンドンの英国王立音楽大学、大学院古楽科にてN. ロジャース、S. ロバーツの各氏に声楽を、J. リンドベルイ氏にリュートを師事。2002年より仏国のパリ市高等音楽院古楽科にてホルネットをJ. テュベリ氏に師事。07年にディプロマを取得し、卒業。アンサンブル「エリマ」、「カンパニー・オートルムズール」、「カンタル・ロンターノ」など、フランス内外の主要なバロックオーケストラやアンサンブル等と共演、またCDやラジオ・フランス、BBCの為の録音に参加する等、特に初期バロック音楽の専門家として国内外で活躍中。15年には舞台劇「メアリー・ステュアート」にリュート奏者として出演するなど、様々な分野での活動を広げている。「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」主宰。

コーロ・ピエーノ

1981年の結成以来、西洋音楽の原点といわれる中世・ルネサンス音楽に取り組み、ア・カペラ (無伴奏) 合唱の純粋な響きや小編成の声楽アンサンブルの軽妙さ、古楽器との協演などを通して、比較的演奏機会が少ない当時の音楽の魅力、楽しさを伝えようと活動を行ってきた混声合唱団。福岡古楽音楽祭や合唱祭への出演、年に1回の自主公演などを活動の柱としている。